

リニューアルで失敗しないために

# WordPressサイト リニューアル完全攻略



## はじめに

|                    |   |
|--------------------|---|
| なぜ失敗してしまうのか？ ..... | 4 |
|--------------------|---|

## WordPressリニューアルの基本を押さえる

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| WordPressサイト制作のプロセス完全公開 ..... | 9 |
|-------------------------------|---|

|                                |    |
|--------------------------------|----|
| 見積もり前に用意しておくべき情報とチェックリスト ..... | 13 |
|--------------------------------|----|

## WordPressリニューアルの要点 注意すべき技術と設計

|                            |    |
|----------------------------|----|
| プラグインは便利だが要注意。その理由とは ..... | 18 |
|----------------------------|----|

|                     |    |
|---------------------|----|
| 知っておきたいカスタム投稿 ..... | 22 |
|---------------------|----|

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| WordPressで管理してはいけない個人情報 ..... | 24 |
|-------------------------------|----|

## 技術的な要素 成功のための基盤を整える

|                           |    |
|---------------------------|----|
| ページ速度とパフォーマンス改善の重要性 ..... | 26 |
|---------------------------|----|

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| WordPressサイトのセキュリティ対策 ..... | 28 |
|-----------------------------|----|

## サービス紹介

|              |    |
|--------------|----|
| サービス紹介 ..... | 32 |
|--------------|----|

|                     |    |
|---------------------|----|
| お問い合わせ・見積もり依頼 ..... | 33 |
|---------------------|----|

|            |    |
|------------|----|
| 会社概要 ..... | 34 |
|------------|----|

はじめに

WordPressは非常に利便性の高いシステムですが、多くの方が重要なことを理解せずにリニューアルを進めてしまっており失敗するケースが見受けられます。

### よくある失敗のケース

- ✔ 求めていた仕様にならなかった
- ✔ 求めていたデザインにならなかった
- ✔ 更新性が悪く、業務効率が下がった
- ✔ 納品後のサポートが悪い
- ✔ パフォーマンスが下がった
- ✔ 公開後に想定外の追加費用が発生した



## 失敗してしまう理由

### 1.要件定義が曖昧だった

発注前に仕様を明確にしておかないと、制作側との認識違いが発生し、期待と異なるサイトになってしまう。

### 2.価格だけを優先した外注先選び

安価な業者やフリーランスの場合、スキル不足やサポート体制が不十分であることが多い。

### 3.コミュニケーション不足

外注先との連絡がスムーズでない場合、方向性のズレや進捗遅れが発生してしまう。

### 4.運用後のサポートがない

納品後のサポートが含まれていないため、不具合や更新対応ができない。

### 5.SEOやUXを考慮していない

デザインや機能だけに集中し、検索エンジンやユーザー体験を無視したサイトになってしまう。



## 失敗してしまう理由

### 6. テンプレートに依存しすぎた

テンプレートを使用した結果、オリジナリティがなくなり、競合と差別化できない。

### 7. 運用の手間を考えていない

更新や管理が複雑で、運用に負担がかかるサイトになる。

### 8. 契約内容の確認不足

契約書に機能追加や修正対応が含まれておらず、後から高額請求されるケースがある。

### 9. 進行管理が甘い

プロジェクトの進行がスムーズでない場合、納期遅延やクオリティ低下が起こる。

### 10. 外注先のスキル不足

WordPressの専門知識が不足している業者に依頼してしまい、想定通りの機能が実現できない。



**失敗を防ぐためには、事前のリサーチと準備、外注先との信頼関係構築が鍵です。**



**事前のリサーチと準備**



**外注先との信頼関係構築**

本書では、WordPressサイトのリニューアルを成功させるために必要な情報を詳しくまとめています。ぜひ繰り返しご活用いただき、ウェブサイトリニューアルの成功にお役立ていただければ幸いです。

# WordPressリニューアルの 基本を押さえる

多くの企業が、WordPressサイト制作やリニューアルのプロセスを理解していない状態で進めてしまうため、失敗率が高くなってしまいます。

制作の流れを知らないと…

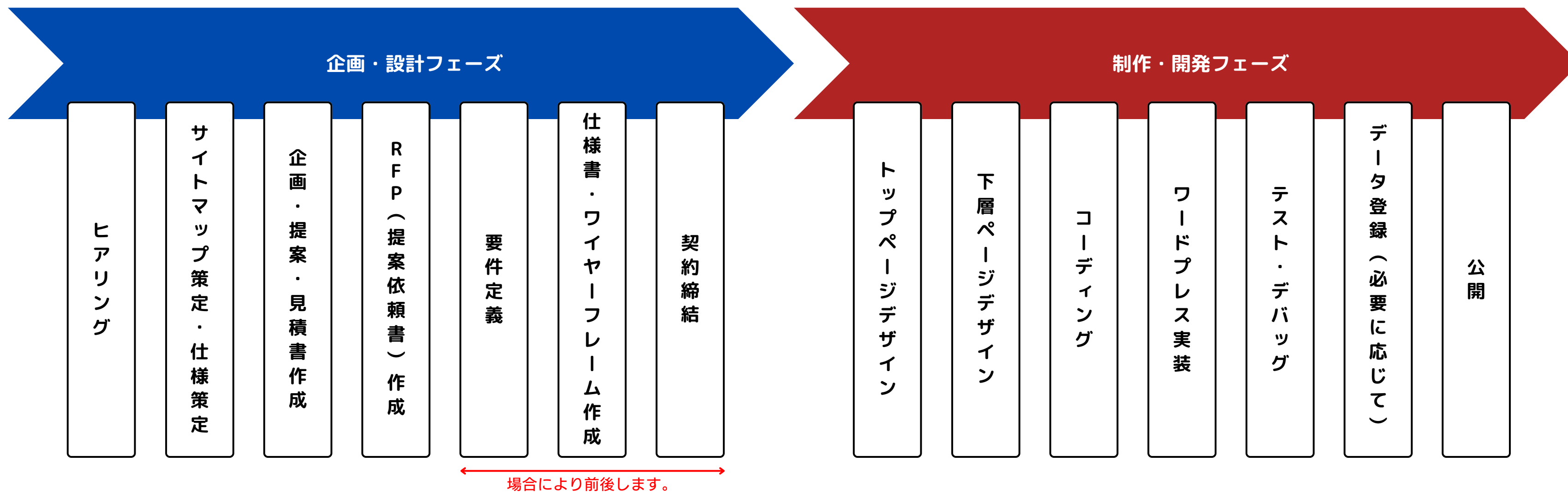
- ✔ 不明確な目標設定で期待外れの結果になる。
- ✔ 制作会社とのコミュニケーションが噛み合わず、手戻りが多発。
- ✔ unnecessaryな機能にコストをかけてしまう。
- ✔ デザインやコンテンツがターゲットユーザーに合わない。
- ✔ 制作スケジュールが曖昧で、納期が大幅に遅れる。
- ✔ SEOやセキュリティ対策が不十分で、公開後にトラブルが発生する。



制作のプロセスをしっかりと理解することで、プロジェクト全体をコントロールし、スムーズに進められます。本章では、初期調査から公開までの具体的な流れを完全公開します。

# WordPressサイト制作のプロセス完全公開

プロジェクトを成功させるには、制作プロセスを「企画・設計フェーズ」と「制作・開発フェーズ」に分け、それぞれで適切に進めることが重要です。以下の図解にて全体像を把握しながら、スムーズな進行を目指しましょう。



## 企画・設計フェーズ

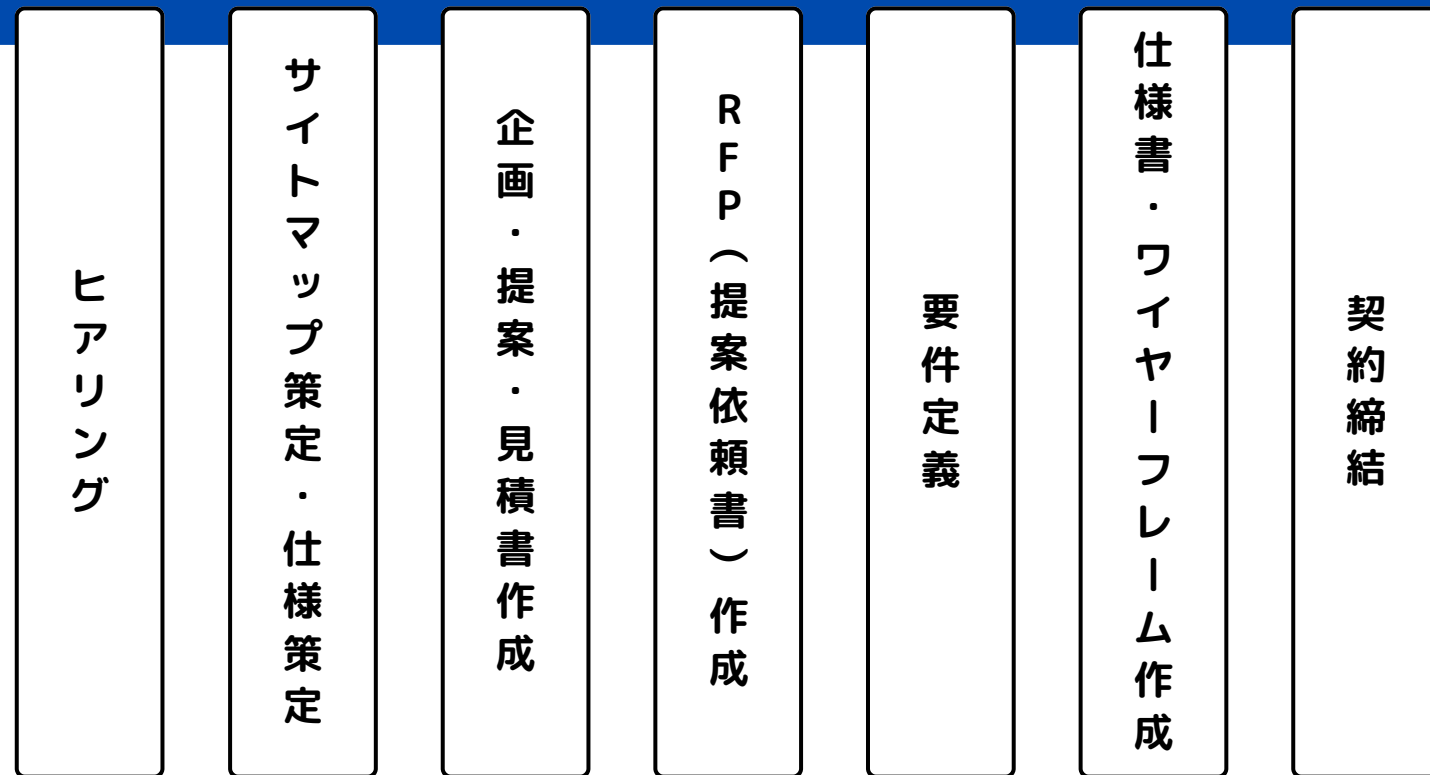
目標設定や要件定義、ターゲットユーザー分析、サイト構造の設計を行う段階です。この準備がプロジェクト全体の土台となります。

## 制作・開発フェーズ

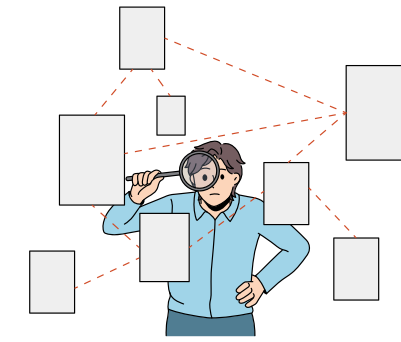
設計内容を基に、デザイン制作やコーディング、機能実装を進める段階です。品質と完成度が、成果を大きく左右します。

## 企画・設計フェーズで重要なポイント

企画・設計フェーズ



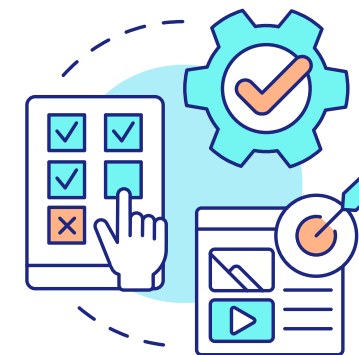
場合により前後します。



**ポイント1**  
**情報収集**



**ポイント2**  
**制作会社の提案力**



**ポイント3**  
**仕様の明確化**

## 制作・開発フェーズで重要なポイント

制作・開発フェーズ

トップページデザイン

下層ページデザイン

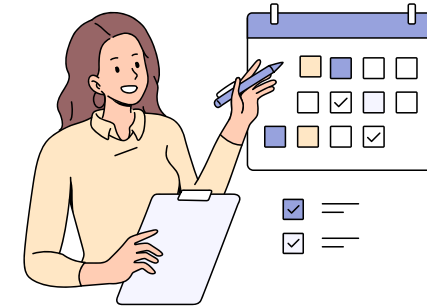
コーディング

ワードプレス実装

テスト・デバッグ

データ登録（必要に応じて）

公開



**ポイント1**

**プロジェクト管理**



**ポイント2**

**コミュニケーション**



**ポイント3**

**公開後のサポート**

WordPressサイトリニューアルにおいて、見積もりを依頼する際に、必要な情報を準備していないと、時間と労力が無駄になり、**適切な提案**が得られません。

準備不足で見積もり依頼をすると…

- ✓ 要望が伝わらず、提案がズレる。
- ✓ 内容が曖昧で追加費用が発生する。
- ✓ 必要な機能が漏れてしまう。
- ✓ 確認や修正が増え、納期が遅れる。
- ✓ 制作物が期待と異なり、不満が生じる。
- ✓ 制作会社からの優先度が下がる。信頼関係が築けない。



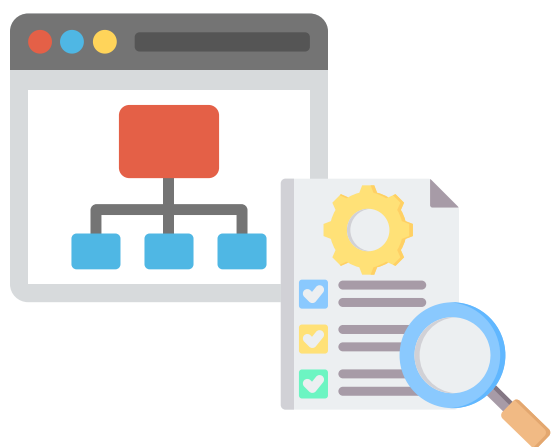
見積もり前の準備を整えることで、**適切な提案**を受けやすくなり、プロジェクトがスムーズに進みます。本章では、必要な情報と効率的に進めるためのチェックリストを紹介します。

## 最低限用意しておくべき情報



### 1. 現状の課題・リニューアルの目的

現在のサイトに対する課題や改善点、リニューアルの目的を制作会社にしっかりと伝えることで、課題解決と目的達成に向けた具体的な提案を得ることができます。



### 2. 既存サイトの仕様・リニューアル後の要望

- 既存サイトのURL
- 既存サイトのページ数とリニューアル後に追加・削除予定のページ数。
- 既存サイトの機能と追加希望の機能。

最低限の情報を用意した上で、問い合わせや見積もり依頼をするようにしてください。WordPressサイトのリニューアルにおいては、現行サイトのページ数が膨れ上がっていて、社内で整理ができない状況の場合もあるかと思しますので、そういった場合には、その旨を制作会社に伝え、適切な提案をもらうようにしましょう。

## チェックリスト

### 1. リニューアルの目的とゴール

- リニューアルの目的：現状の課題や解決したい問題を明確にしましたか？
- 目標（具体的なKPI）：リニューアル後に達成したい成果を設定しましたか？
- 売上貢献シミュレーション：目標が売上にどのように影響するか試算しましたか？

### 2. 既存サイトの分析

- 現状の問題点：現在のサイトの改善点をリスト化しましたか？
- Googleアナリティクスや数値データ：直帰率、滞在時間、流入経路などを把握していますか？

### 3. 予算

- おおよその予算設定：プロジェクトに割り当てられる予算を決めましたか？
- コスト削減可能な項目：不要な機能や業務プロセスを特定しましたか？時間、流入経路などを把握していますか？

### 4. 業務要件

- 必要な機能のリスト：更新機能、問い合わせフォーム、絞り込み検索機能など。
- 不要な機能の特定：現在利用されていない機能などを洗い出しましたか？

### 5. 納期

- 希望する完成時期：リニューアルを完了したい具体的な日程を設定しましたか？



### 活用のポイント1

全ての項目を完璧に埋める必要はありません。わからない部分は、依頼先に相談することで具体化が進みます。

## チェックリスト

### 6. デザイン方針

- 目指す方向性：希望するデザインやブランディングのイメージを明確にしましたか？  
例：参考サイトのURL、色合いやトーンの指定。
- 自社で準備可能な素材：利用可能な画像、文章、ロゴなどをリスト化しましたか？



### 7. コンテンツ計画

- 新規作成が必要なコンテンツ：リニューアルに伴い作成する文章や画像などの概要を整理しましたか？
- 流用可能な既存コンテンツ：現在のサイトから再利用できる素材を確認しましたか？

### 8. 技術要件

- 希望するCMS：WordPressや特定のプラグインなど、技術的な要望を確認しましたか？
- 必要なセキュリティ対策：SSLや管理画面保護などの要件を明記しましたか？

### 9. 運用・保守計画

- リニューアル後の更新頻度：コンテンツ更新やメンテナンスのスケジュールを検討しましたか？
- 自社で対応可能な範囲：社内で更新作業が可能な範囲を確認しましたか？

### 10. 提案依頼書（RFP）の作成

- 要件や条件をまとめたドキュメント：上記の内容を1つのドキュメントにまとめ、依頼先に提出できる準備をしましたか？

## 活用のポイント2

情報が整理されていると、見積もりや提案の内容が的確になり、スムーズな進行につながります。

# WordPressリニューアルの要点 注意すべき技術と設計

## プラグインは便利だが要注意。その理由とは

WordPressのプラグインは便利ですが、使用するプラグインを正しく選択できていなかったり、便利だからと多用してしまうとサイトのパフォーマンスやセキュリティに深刻な影響をおよぼしてしまいます。

間違った使い方や多用してしまうと…

- ✔ パフォーマンス低下でサイトの表示速度が遅くなる。
- ✔ セキュリティリスクで脆弱性が増える。
- ✔ 互換性の問題でプラグイン同士やWordPress本体と競合する。
- ✔ メンテナンスの複雑化でアップデート管理が煩雑になる。
- ✔ 不要な機能の増加でサイトが無駄に重くなる。



企業がWordPressをサイトの  
CMSプラットフォームとして利用する場合



制作側に豊富な知識や経験が  
あることが前提条件

## プラグインに頼ってウェブサイトを構築してしまうリスク

- ✔ 拡張性やメンテナンス性を損なう = 改修時やメンテナンスコストが割高になってしまう
- ✔ エラーやトラブルの原因になりやすい = サイトがダウンしてしまったり、対応時にコストが発生する恐れ



技術力のない制作会社に  
仕事を依頼してしまうと



リスクの高いウェブサイトになっ  
てしまう危険性がある。

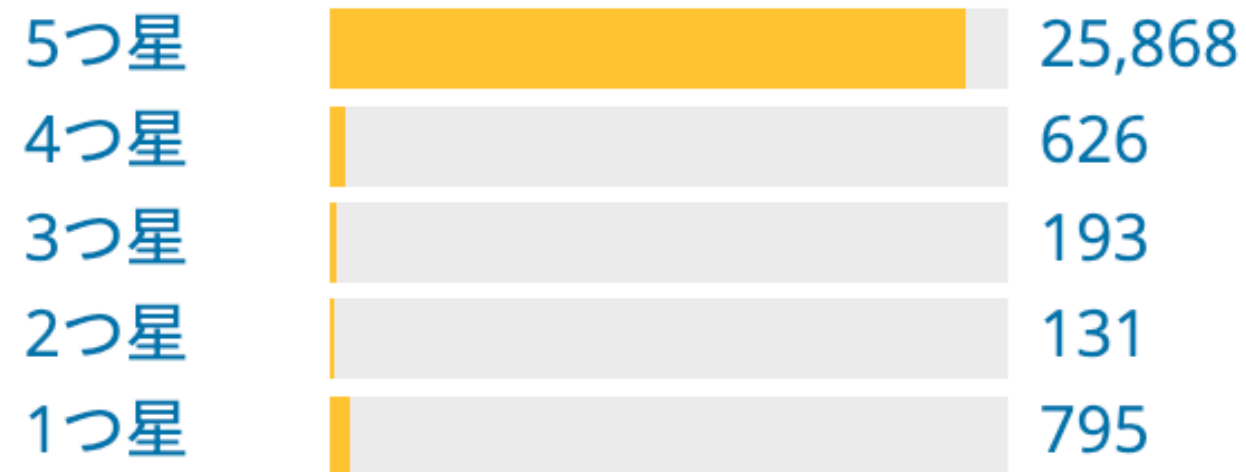


プラグインに頼らなくても、  
開発できる技術力のある制作会社を選ぶことが失敗しないコツ

## プラグイン選びのコツ

- ✔ コア機能に関わるプラグインの使用は避け、運用をサポートするプラグインを使用する
- ✔ 公式ディレクトリに登録されているプラグインを使用する
- ✔ 評価や最終更新日をチェックする

### 評価



バージョン: 21.7

最終更新日: 3週間前

有効インストール数: 5百万以上

## プラグイン豆知識



プラグインとはWordPressをより便利にするために世界中のエンジニアが自由に開発を行っています。しかし逆を言えばどこの誰が開発したのかという信用の面で欠けています。

プラグインの開発者がアップデートを止めてしまった場合、機能が使えなくなったり、セキュリティ上の問題を引き起こす可能性が高くなります。

本来、WordPress本体に合わせてアップデートする必要がありますが、更新が停止してしまうことで、問題を引き起こす可能性が高まるということです。



## カスタム投稿とは

一言で言うと、**とても管理がしやすくなる機能**です。

- ✔ 情報を種類ごとに分けると、「製品情報」や「イベント情報」を簡単に整理できます。
- ✔ 専用の入力画面で、必要な項目だけをスムーズに入力できます。
- ✔ 投稿ごとにデザインを変えられ、見やすくて分かりやすいレイアウトが作れます。

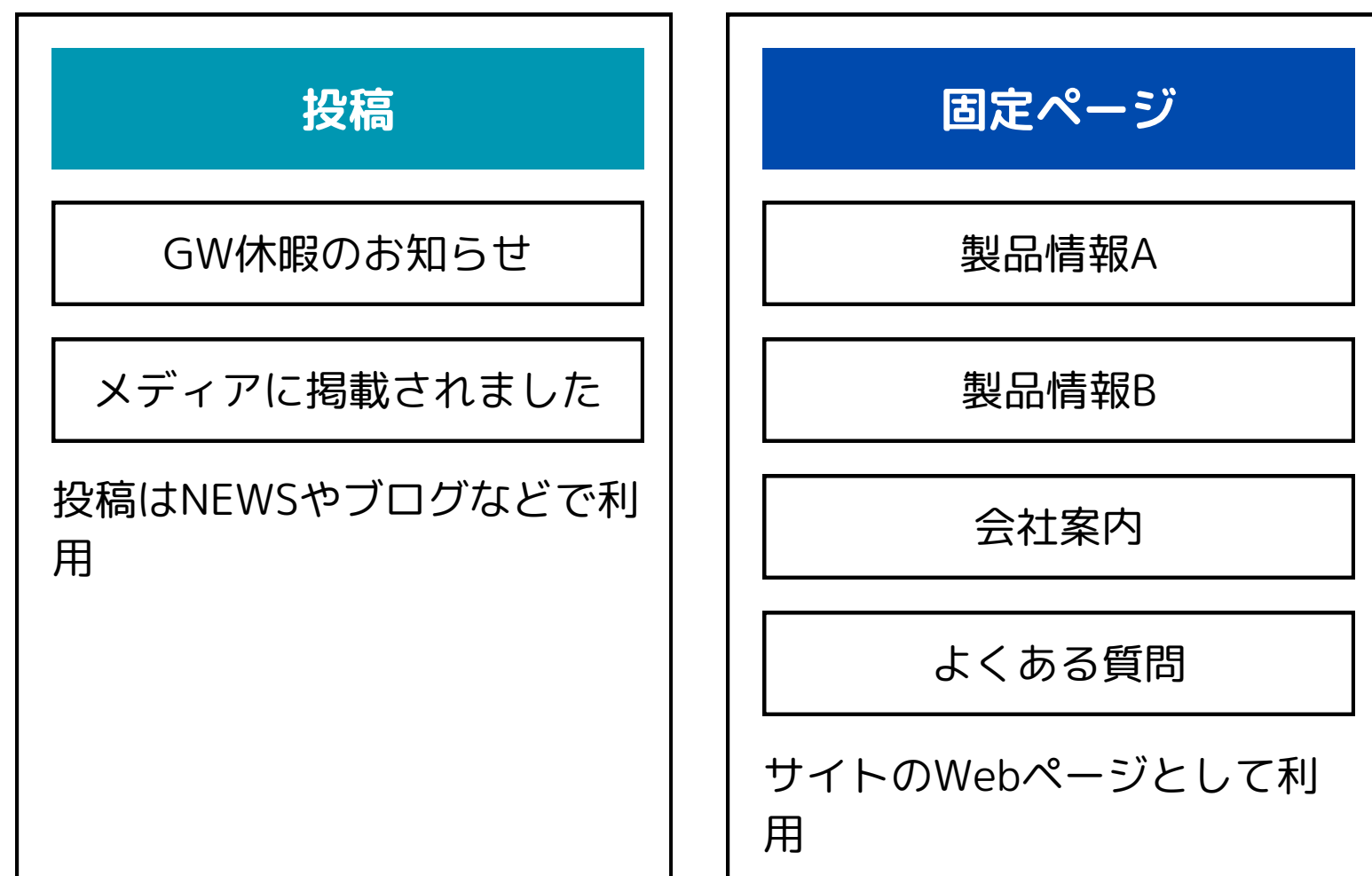


カスタム投稿を活用すれば、運用の効率が劇的に向上し、複雑なサイトでも簡単に管理できるようになります。ユーザーも情報を直感的に把握でき、満足度が向上します。

## カスタム投稿の実装事例

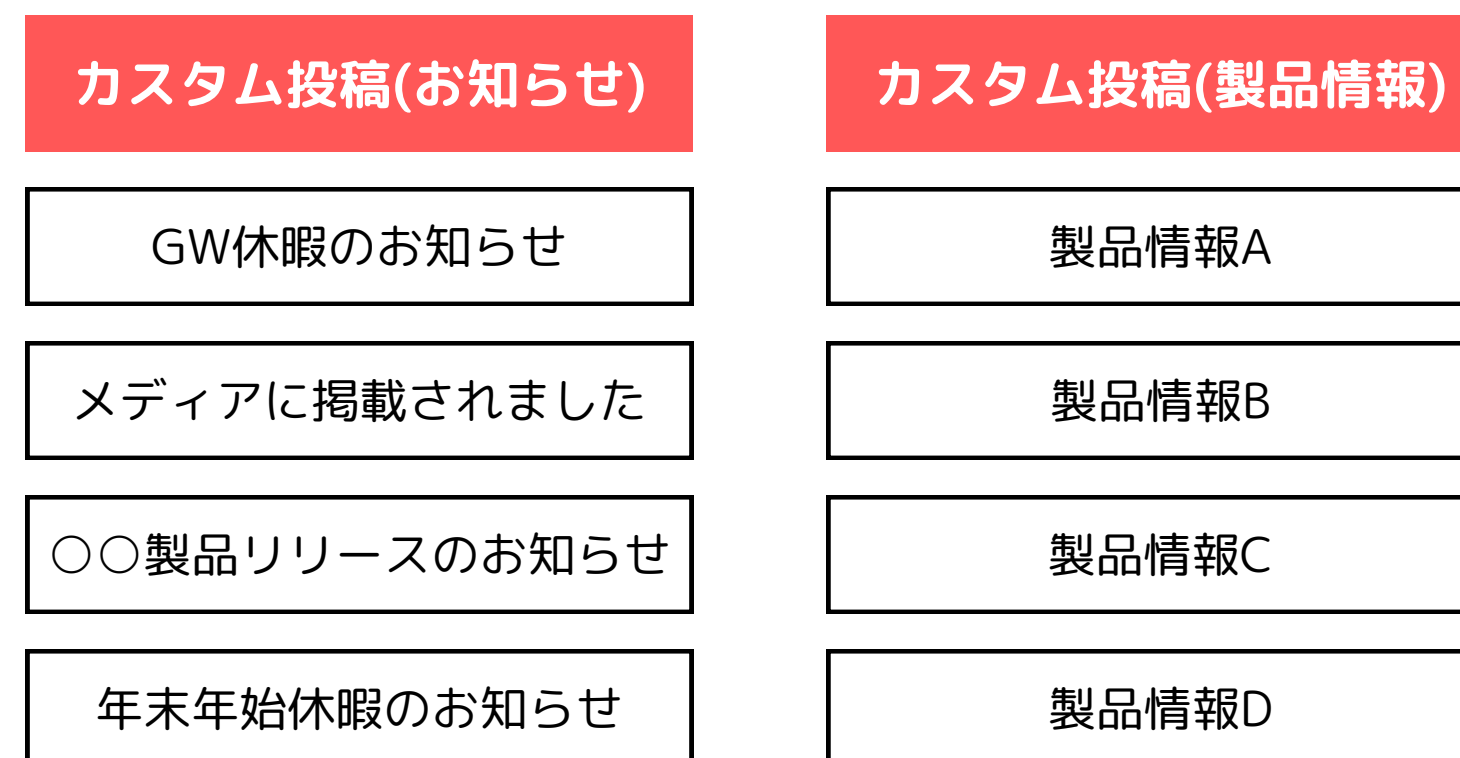
### Before

投稿や固定ページの中に、全てのコンテンツが格納され、バラバラで管理しづらい



### After

投稿タイプを分けることで（グループ分けすることで）コンテンツの管理がしやすい



グループ分けすることで、管理しやすくなる

WordPressは「コンテンツを管理するシステム」であり、個人情報の保管や管理を目的としたツールではありません。しかし、一部の企業やサイト運営者がこれを理解せず、WordPressに個人情報を保管してしまうケースが見られます。



## セキュリティリスク

不正アクセスや情報漏洩のリスクが高まる



## 法律違反の可能性

個人情報保護法やGDPRに違反する恐れがある



## 運用の負担増加

保管や削除が煩雑になり、運用が非効率になる

WordPressでは個人情報の管理を避け、CRMや専用フォームを活用し、最低限の情報収集とSSLによる通信暗号化で安全に管理すれば、法令違反や情報漏洩のリスクを回避できます。WordPressをコンテンツ管理に専念させることで、効率的な運用が可能になります。

**技術的な要素**  
**成功のための基盤を整える**

ページの表示速度が遅かったり、サイトのパフォーマンスが低いと、ユーザーがすぐに離脱してしまい、SEOやビジネス成果にも悪影響を与えます。

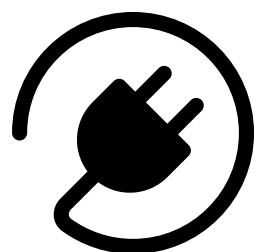
表示速度やパフォーマンスが低いことで起こる具体的な問題

- ✔ ユーザーの離脱: ページ表示が1秒遅れるごとに、直帰率が大幅に上昇する。
- ✔ SEOへの悪影響: Googleはページ速度を検索順位の重要な要素として評価している。
- ✔ コンバージョン率の低下: サイトが遅いと、ユーザーは問い合わせや購入に進まず、売上が減少する。
- ✔ 信頼性の低下: 遅いサイトは「使いづらい」と感じられ、企業やブランドの信頼を損なう。

ページ速度やパフォーマンスが低下する主な原因は、プラグインの多用や不適切な開発手法、最適化されていない画像や動画の使用、キャッシュ機能の未設定、さらにサーバー環境の性能不足やモバイル対応の不備が重なることで発生します。これらがサイト全体に無駄な負荷をかけ、表示速度の遅延やユーザー体験の低下を引き起こしてしまうのです。

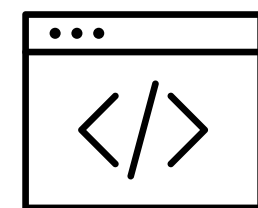


## ページ速度とパフォーマンス改善の解決策



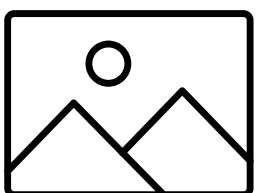
### プラグインの整理

不要なプラグインを削除し、必要最小限に抑える。



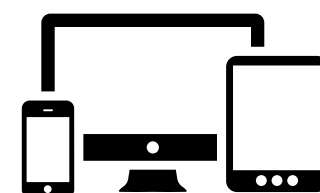
### コードの最適化

無駄なCSSやJavaScriptを削除し、軽量化する。



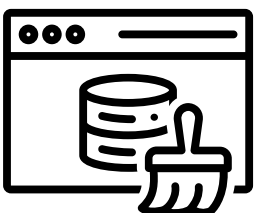
### 画像・動画の最適化

サイズを圧縮し、軽量フォーマット（WebPなど）を使用する。



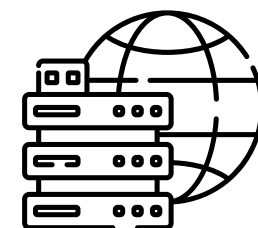
### モバイル最適化

レスポンシブデザインでスマホ対応を強化する。



### キャッシュ機能の導入

キャッシュを設定し、読み込み時間を短縮する。



### サーバー環境の見直し

高性能サーバーやCDNを導入し、安定した速度を確保する。

これらの対策を実行すれば、ページ速度が向上し、ユーザーの離脱が減少。SEO順位が上がり、問い合わせ数や売上の向上が期待できる「快適なサイト基盤」が整います。

WordPressは世界中で使われる人気のCMSですが、その分、不正アクセスや情報漏洩といったセキュリティリスクに狙われやすいという問題があります。

## セキュリティに問題があると・・・

ウェブサイトが表示されない  
詐欺サイトやアダルトサイトに強制的に飛ばされてしまう



## 更に問題が拡大する可能性も・・・

データベースに顧客情報がある場合、  
個人情報が流出してしまい、大問題に発展してしまう



これらのリスクを防ぐために、WordPressサイトでは、セキュリティに対する知識と、セキュリティ対策が必須








WordPressって大丈夫なの？心配になってきた・・・

このような声が聞こえてきそうですが、安心してください。

## WordPressはセキュリティに強いソフトウェアです。

その理由は、世界中で最も利用されているCMSとして多くの開発者やセキュリティ専門家が常に脆弱性を監視し、迅速に修正を行っているからです。

-  **定期的なアップデート**  
WordPress本体はもちろん、公式プラグインやテーマも、セキュリティリスクを防ぐために定期的に更新されています。
-  **標準でセキュリティ機能を搭載**  
SSL対応（HTTPS）や管理画面へのアクセス制限、データベース接続情報の暗号化など、基本機能でも安全性が高く設計されています。
-  **柔軟なカスタマイズ性**  
必要に応じて、パスワード強化や二段階認証など、サイトの運用に合わせてセキュリティ対策を強化できます。
-  **グローバルなセキュリティ体制**  
オープンソースのコミュニティには世界中の開発者が参加しており、脆弱性が発見されるとすぐに修正される仕組みが整っています。
-  **豊富なセキュリティプラグイン**  
WordPressには、セキュリティを強化するプラグイン（例：SiteGuard WP Plugin）が充実しており、簡単に導入・管理できます。

## チェックリスト「WordPressセキュリティ対策10のポイント」

- WordPress本体・プラグイン・テーマを最新バージョンに保つ  
脆弱性を修正するため、常に最新状態に更新する。
- 二段階認証を導入する  
ログイン時に追加認証を設定し、不正アクセスを防ぐ。
- 管理画面のURLを変更する  
デフォルトの「wp-admin」から別のURLに変更して攻撃を回避する。
- 定期的にバックアップを取得する  
万が一に備えて、サイトデータとデータベースをバックアップする。
- ユーザー権限を適切に設定する  
不要な管理者権限を避け、最低限の権限を設定する。
- 強力なパスワードを設定する  
管理画面のパスワードは、複雑で推測されにくいものを使用する。
- SSL証明書（HTTPS）を導入する  
サイト全体を暗号化して、通信の安全性を確保する。
- セキュリティプラグインを導入する  
SiteGuard WP Pluginなどを使用し、ファイアウォールや監視機能を強化する。
- 不要なプラグイン・テーマを削除する  
使用していないプラグインやテーマは削除し、リスクを減らす。
- アクセスログを定期的に確認する  
不審なログインやアクセスがないか監視し、早期に対応する。

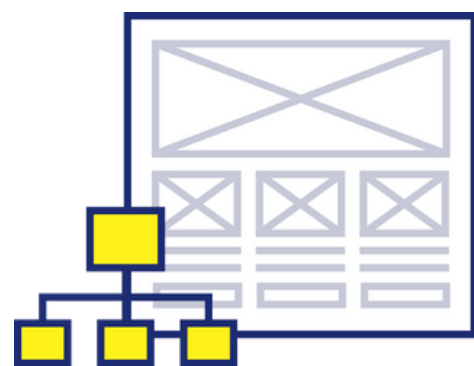
## 自分ですべてのセキュリティ対策を管理するのは難しい場合もあります。

日々の更新や監視には手間と時間がかかるため、専門の制作会社が提供する保守サービスも検討しましょう。専門家に任せることで、セキュリティ対策が徹底され、安心してサイト運用に集中することができます。

# サービス紹介

## サービス紹介

(株)インスパイアデザインでは、WordPressに専門特化したトータルサービスを提供しています。サイト制作から運用・保守まで一貫して対応し、高品質なデザインと機能性でお客様の課題解決とビジネス成長を支援します。



### 設計

Webマーケティングの基本を押さえた、戦略的な企画提案と設計を行います。



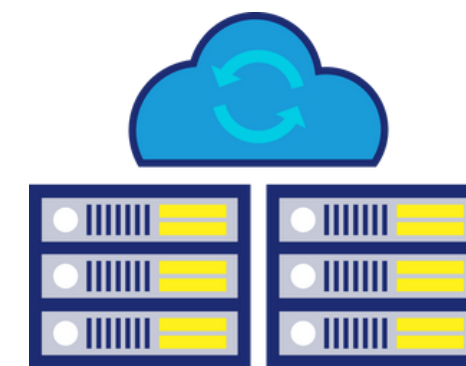
### 制作

貴社ビジネスの目的達成に向けたWebサイトのデザイン制作を行います。



### 開発

WordPressを用いてCMS、Webシステム、プラグイン開発を行います。



### 移行

Movable Typeなど他のCMSからの移行やサーバー移行などを行います。



### 保守

Webサイトを安心・安全に運用できるよう、保守・管理を行います。

# お問い合わせ・見積もり依頼

お問い合わせは専用フォームよりお願いいたします。



以下のURLをクリックすると、お問い合わせフォームにアクセスできます。

[inspire-design.net/ask/](http://inspire-design.net/ask/)



スマートフォンでQRコードを読み取ると、お問い合わせフォームにアクセスできます。

**QR Code**

いずれも (株)インスパイアデザインWebサイトの問い合わせフォームにアクセスします。



## 会社概要

|              |  |
|--------------|--|
| 会社名          | 株式会社インスパイアデザイン   |
| 設立           | 2008年4月  |
| 代表取締役        | 浅賀 理生  |
| 取締役          | 家富 正幸  |
| 所在地<br>東京営業所 | 東京都千代田区九段南一丁目5番6号<br>りそな九段ビル5F KSフロア                         |
| 埼玉本社         | 埼玉県秩父市桜木町14-30   |
| TEL          | 0494-24-8926   |
| URL          | <a href="http://inspire-design.net">inspire-design.net</a>   |
| 事業内容         | WordPressソリューション事業<br>ウェブサイトの企画・制作・保守<br>ウェブシステムの企画・設計・開発・保守 |